

六分儀の使い方



初めに注意！

六分儀を使う時だけに限りませんが、太陽の光を直接見ると、目が見えなくなってしまうことがありますので、絶対に見ないようにしましょう。
六分儀の鏡に映った太陽の光も同じく、見てしまうと目が見えなくなってしまうことがありますので、絶対に見ないように気をつけて機器を使ってください。



それでは、使い方の説明

1. まわりを見て、角度を測る目標物を確認します。
たとえば、写真中央付近の山頂に見える建物と、右に見える柱との角度を測る場合を見てください。

写真2



3. 矢印の根元の部分（写真3の ）から矢印の方向ある鏡の景色と、その奥に見える実際の景色を見ます。

写真4



写真1

2. 真横から平行に見るような姿勢に構えます。

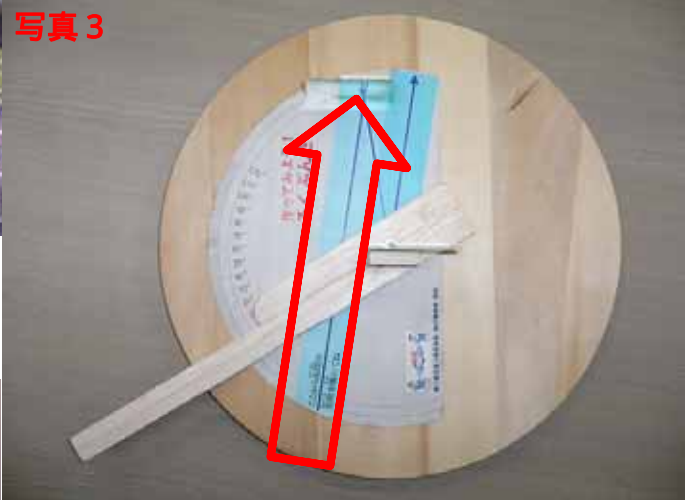


写真3

4. 右に見える目標物が六分儀の鏡に見えて左に見える目標物が実際に奥に見えるところまでレバー（写真3の ）を回します。
その後、細かく慎重にレバーを調整して2つの目標物が一直線になる場所を探します。

5 . 目盛りの値を読みます。写真5では7度です。

みなさんも、いろんな場所の角度を測ってみてね！

